

關稅定率法中改正法律案特別委員會議事速記錄第八號

大正十五年三月二十二日(月曜日)午前十時十九分開會

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 開會イタシマス、先日迄デ略、全體ニ付テノ御質問ハ盡キタノデアリマスガ、尙ホ今日ハ補遺ノ爲ニ全體ニ付テ御質問ガアレバナヌテハ如何ニスカ

○倉知鐵吉君 關稅ニ關シマシテハ關稅定率法ノ外ニ朝鮮ニ關スル特別規定並ニ關東州ニ關スル特別ノ規定ガアルノデゴザイマスガ、是ハ定率法ノ改正ニ伴フテ矢張リ改定ヲ要スルモノカト思フノデアリマス、而シテ朝鮮ニ關スル法律ニ付キテハ私ハママ見マセヌガ、衆議院ニ改正案ガ出タト云フコトニ伺ヒマシタ、若シサウダト致シマスレバ、殘ル所ハ關東州ノ特別規定デアリマス、是ハ大正十四年法律第五十號テ定メラレタル所謂特惠關稅ニ關スル法律テアルノデアリマス、是ハモウ愈期モ切迫シテ居ルノデアリマスカラ多分御改正ニナラナイダラウト思ヒマスガ、御改正ニナルノデアリマセウカ、ナラヌノデアリマセウカ「ト云フコトヲ第一ニ御伺ヒ致シマス、次ニ若シ御改正ニナラナイト致シマスルト、此特惠關稅ニ關スル法律ト改正法律案トノ間ニ翻語スル所ガ出來テ來マス、例ハ新關稅定率法ニ依テ無稅ニナッタモノガアリマスルシ、特惠關稅法ニ依テ特別ノ手續ヲスレバ初メテ無稅ニナルト云フモト兩方アルノデアリマスガ、是ガ重ナツテ來ルノデアリマス、此場合ハ多分解釋ニ依テ新定率法ガ出來タ以上ハ特惠關稅ニ關スル手續ヲ執ラズシテ無稅ニスルノデアラウト思ヒマスガ、是ハドウナルモノデアリマ

セウカ、又稅率ノ番號が變々タモノモアリマス、例バ百五十一ノ二「ブローム」ト書イ

タルノガ、今度ハ百五十一ノ二ハ無クナッタ、併シ「ブローム」ト云フモノハ殘テ居ルノデアリマスカラ是モ番號ガ違テ居ラテモ矢張リ「ブローム」ト云フコトニ該當スルトシテ番號ニ關係ナク解釋デ以テ新「ブロ

カ、是ハ如何デアリマセウカト云フコトヲ第二ニ御伺ヒ致シマス、第三ニハ特惠關稅ニ關スル法律案ガ衆議院ニ議定セラレマシタ昨年ノ三月ニ、衆議院ニ次回ノ議會ニ於

テ

一般ニ稅法ヲ改正セラル、場合ニハ「グリセリン」ニ對シテ、是レ迄ノ稅率ヲ引上ト、モウ一ツハ次期ノ議會ニ於テ特惠關稅ノ中ニ於テ大豆硬化油ヲ追加シテ貴ヒタイ價割一割以上ヲ課稅シテ貴ヒタイト云フト、モウ一ツハ次期ノ議會ニ於テ特惠關稅ノ付イテ居ルコトヲ知テ居ルノデアリマシテ、是ハ衆議院ニ提案ニナッテ、審議セラレテ同ノデアリマスガ朝鮮ニ關シマシテハ、既ニ衆議院ニ提案ニナッテ、審議セラレテ同ノデアリマスガ朝鮮ニ關シマシテハ、既ニ衆議院ニ提案ニナッテ、審議セラレテ同ノデアリマスガ

朝鮮ニ關シマシテハ、既ニ衆議院ニ提案ニナッテ、審議セラレテ同ノデアリマスガ

ト云フ二ツノ條件ヲ付ケテ居ルノデアリマシテ、是ハ衆議院ニ於テ此條件ガ承認セラレテ貴族院ニ送付セラレテ、吾々モ此條件ノ付イテ居ルコトヲ知テ居ルテ、特惠關稅ニ關スル法律案ヲ議定シタト云フコトニナッテ居リマス、而シテ今申上マシタ「グリセリン」ト牛脂ノ稅ヲ新聞稅定率法ニ依リマシテ、ソレ「改正ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、只今申上ゲタ第一ノ條件ハ既マスルコトガ最モ適當デアラウト實ハ考ヘテ居リマスノデアリマスガ、是ハ御承諾ナシニ、是ハ無稅ノ取扱ヒマスレバ、矢張リ之ニ伴ヒマシテ、直ホシマスルコトガ最モ適當デアラウト實ハ考ヘテ居リマスノデアリマスガ、是ハ御承諾ナシニ、是ハ無稅ノ取扱ヒマス、是ハモウ定率法デ無稅ニナリマシタカラ、此方ノ法律ハ自然ニ消滅シタヤウニ取扱ヒマシテ、證明ナシニ、是ハ無稅ノ取扱ヒテ云フモノヲ適用シテ行、テ差支ナカラウム」矢張リ「ブローム」ヲ主トシテ居ルノデアリマスカラ、今回百五十一ノ「ブローム」ヲ致ス積リデアリマス、ソレカラ「ブローム」矢張リ「ブローム」ヲ主トシテ居ルノデアリマスカラ、是ガ提案ニナリマセヌデカト考ヘマシテ、是ガ提案ニナリマセヌデモ解釋ニ依テ支障ナク參ルコト考ヘテ居リマス、ソレカラ大豆硬化油ニ付キマシテ、ソレハナカタト思ヒマスル、私ハモウ少シ一般的ニ御答ヘ申シテ置キマシタヤウニシ何カノ都合デ明年即チ今年デアリマス、明適當ナ修正ヲ致シタイ考ヘテ居ルノデ

記憶イタシテ居リマスルガ、免ニ角唯今御述ベニナリマシタヤウナ趣旨ノ答辯ヲ當時

ノ政府ノ委員ハ致シタノデアリマシテ、其後研究ヲ致シタノデアリマス、然ルニ、最初ニ申上げマシタヤウニ、關東州カラ這入テ参リマスル品物ニ付キマシテハ、色とノマダ此外ニ品物ガアルノデアリマシテ、ソレ等ニ付キマシテハ關東州カラハ希望ガ參ツテ居ルノデアリマス、ソレ等ト一緒ニ、是ハ寧ロ解決スル方ガ宜カラウト云フ風ナ趣旨デ調査ガ實ハ遲レマシタ次第アリマス、是モ或ハ今期議會ニ提案ハ出來ナイヤウナコトニ相成リハシナイカト私ハ考ヘテ居リマス、併シ之モ他ノ品物ト一關東州提案ニ係リマスル他ノ品物ト一緒ニ十分ニ、常設委員會ニモ付議イタシマシテ、考究ノ上、次期ノ議會ニ於キマシテ、其委員會ノ調査ノ結果ヲ斟酌イタシマシテ、適當ニ之ノ處理ヲ致シタイト云フ考ヘヲ持テ居ル次第アリマス。

○倉知鐵吉君 大體諒承イタシマシタガ、御確メ申上げテ置キタイト思ヒマスノハ、

外ノ關東州ノ生産品ハ別ニシマシテ、此

大豆硬化油ダケハ、外ハドウナラウトモ、

次期ノ議會ニ必ず出スト云フ御考ヘデアリ

マセウカ、ドウカト云フコトヲ御尋ネイタ

シテ置キタイ、ソレカラ是ハ政府ノ答辯サ

レタ方ハ、前期議會ニ答辯サレタ方ハ三土

政務次官デアリマスガ、満洲ノ事業家ハ、

此答辯ヲ信頼シテ、ソレ一期待ヲシテ居

ルノデアリマス、是ガ遲レルト云フコトハ

非常ニ彼等ノ計畫ヲ詮詰サセルコトニナリ

マスカラ、縱シ外ノ項目ニ對スル調査ガ完

成ラウカト考ヘマス、ソレニ方法ヲ

採ルト致シマシテモ、勅令デハ是ハ出來十

イコトデアラウト云フヤウニ考ヘテ居リマ

ス

○内田嘉吉君 私ハ前回他ノ委員會ニ出席

テ致シマシテ此處ヲ缺席イタシマシタ爲

ニ、其間御質問ガアツカモ知レマセヌガ、

豫テ本會議ノ節、大藏大臣カラ伺ツテ居リ

参ツテ居ルノデアリマス、ソレ等ト一緒ニ、矢張リ適當ニ處理スルコトが必要デアルト云フコトニ相成リマシタナラバ、次期ノ議會ニハ相當ナル處理ヲ取ルコトニ相成ラウレ等ニ付キマシテハ關東州カラハ希望ガ

ト考ヘテ居リマス
○内藤久寛君 朝鮮ニ於テ關稅率ヲ幾ラカ減ジテ徵收ニナッテ居ルモノモアリマスガ、ソレ等ハ今度、若シソレヲ引上ダルト云フヤウナ場合ニハ勅令デ御引直シニナルノデスカ

○政府委員(黑田英雄君) チヨット只今十分ニ諒解イタシマセヌデシタガ、朝鮮ニ於キマシテ内地ノ稅率ヨリモ引下ダテ規定シテ居ルモノ…

○内藤久寛君 朝鮮デ特別ニ取扱ニナッテ

居ルモノガアリマスガ、其關係カラ今度引

上ダユウト云フ關稅定率ニ準ジテ引上ダヤ

ウト云フコトノ起リマシタ時ニハ、勅令デ

ソレハ行ハレルノデアリマスカ

○政府委員(黒田英雄君) ソレハ、サウ云

フ必要ガアリマシタ場合ニ於キマシテハ勅

令デナクシテ、法律若クハ律令ト云フ形式

ノモノデアラウカト考ヘテ居リマス、只今

致シマシテハ、七百五十万圓餘ノ增收ニ相成

ルコトニナッテ居ルノデアリマス、平年度

御述ベニナリマシタヤウニ、十五年度ニ於

キマシテハ、一千五百萬圓餘ノ增收ニ相成

シテ一千九百三十万圓ノ増加ト云フコトニ相

成シテ居ルノデアリマスガ、斯カルモノ以外

スル小麥及小麥粉並ニ鳥卵ノ稅率ガ修正ヲ

致サレマシタ結果ト致シマシテ、大體小麥

ニナリマス上云フト、相當此輸入ノ減少ト云フ

テ殖エテ來ル…過日農林省政府委員カラ

モ御答申上ダマシタヤウニ耕地モ殖エテ參

ト、内地ノ產額ガ此關稅ノ引上ダニ依リマシ

タニモ拘ラズ多少上カルト云フヤウナ見込

テ輸入スルト云フモノモアルノデハナイカ

ト云フ風ニモ考ヘラレマスノデ、十五年度ニ

於キマシテハ、相當收入ガ減ルモノデハナ

カトウカ、又平年ニナッテ參リマスト云フ

シテナリマス上云フト、相當此輸入ノ減少ト云フ

テ殖エテ來ル…過日農林省政府委員カラ

モ御答申上ダマシタヤウニ耕地モ殖エテ參

リマスシ、從ツテ此生產モ殖エテ來ルト云フ風

ニナリマス上云フト、相當此輸入ノ減少ト云フ

テ殖エテ來ル…過日農林省政府委員カラ

モノモ見込マナケレバナラヌ、關稅ノ引上ダ

ガ、其目的ガ、此處ニアルノデアリマスカラ、

多少此效果ガ生ジテ參リマスレバ、減シテ參ラ

ナケレバナラヌト云フ風ニ、其減シテ見込シテ

居ルノデアリマシテ、十五年度ニ於テハ矢

張リ的確ニドノ位見込シテ

コトヲ、豫算ヲ改定ヲ致シタ次第アリマセ

テハ是ハ大體重モナ品物ニ付キマシテハド

ウナルデアラウカト云フ風ニ見當付ケマ

シテ、是モ關稅ノ見積ハ申上ダマスルマデ

モナク非常ニ困難デアリマシテ、段々其效
果ガ現ハレテ來ル、假リニ關稅率ヲ上ダマ
シテ内地ノ産業ヲ保護シテモ、一時ニドノ
位ノモノガ出來テ來テ、外國品ノ輸入ヲモ
止メルト云フ譯ニモ參リマセヌシ、サウカ
リマスカラ、サウナレバ輸入ト云フモノハ
關稅率ガ上リマシタ結果、ナクナツテ仕舞フト云
フ所マデ行カナケレバ理想デハナイノデア
ト云フコトニナルノデアリマシテ、ドウ
モ其數年ニ亘テ效果ガ色ミ現ハレテ來ル
ト云フ風ナコトニモナルノデアリマスカ
ラ、見積リマスノニ極メテ困難デアリマシ
テ、十五年度ハ相當ナコノ好マシクナイコ
トデモアリマスルシ、少シ見越シモアラウ
ト云フノデ、サウ云フコトニ致シテ居リマ
スキレドモ、平年ト申シマシテモ今申シマ
スヤウナ、先ヅ大體ノ效果ガ現ハレタモノ
トシテ見テ居ルヤウナ譯デアリマシテ、小
麥粉ニ付キマシテモドウモドレ位ノ效果ガ
現レルカト云フコトハ、モウ少シ考究イタ
シマセヌト正確ナコトハ申上ゲル譯ニハ行
キマセヌガ、相當引上ダタ結果、輸入ガ減
ラナケレバナラヌ、又產額モ殖ヘナケレバ
ナラヌト云フ風ニ考ヘルモノデ、ソレデ相
當ソレヲ考慮シテ居リマス次第ゴザイマ
ス、約是ハ一割位ハ控除イタシマスレバソ
レ位ハ增收ニナラウト云フ風ニ考ヘテ居リ
マス、鳥卵ノ方ニ付キマシテハ、是ハ現行
ノ稅率其儘ニ復シタノデアリマスカラ、是
ハ増減ヲサウ餘リ見テ居リマセヌヤウナ次
第デアリマス

テ、二割減ジテ八百万以上ニナラウト思七
マス、マア八百万位ニナラウト思ヒマス、
サウ致シマスト、六十三錢デアリマスカ
ラ、約ソレモ五百万圓位ハ增收ガアリハセ
ヌカト思フノデアリマス、ソレガ數ガ間
違ンテ居ルナラバ正シテ戴キマスレバ：○
○政府委員(黒田英雄君)　是ハ輸入額ニ對
シマシテ若干ノ此損傷減リヲ見マシテ、其
減リマシタモノニ對シマシテ、輸入稅率ヲ
カケテ居ルノデアリマシテ、唯今申上げマ
シタヤウニ別ニ他ニ何等ノ斟酌ヲ加ヘマセ
ヌデ、二割減デ丁度小麥ニ付キマシテハ、
三百四十圓ノ金又ニ目減シテ居ル

ケテ計算ヲシテ見ルヨリ外仕方ガナイノデ
ゴザイマスガ、千百六十万「ピクル」アッテ、
ソレガ半分ニナル、色ミナ減リガアッテ半分
ニナルトシテモ、先ヅ五六百万圓ト云フモ
ノガアルノデアリマスカラシテ、ソレニ更
ニ一圓五十錢ヲ掛ケレバ九百万圓以上ニナ
ル、ソレデアリマスカラ半分ニナッタシリ
テモ、餘程殖工ナケレバナラヌモノト思ハ
レルノデアリマス、是等ハ計數ニナリマス
カラ、此位デ御質問ヲ止メテ置キマス、次
ニ御尋ネシテ置キタイト思フノハ、此砂
糖ノ課税ヲ即チ稅表デ言ヒマスト云フト第
四十二當ル砂糖ノ課稅デアリマスガ、段々
課稅ハ課稅ノ便宜 即チ衡平ヲ得ルト云フ
コトヲ目的トシテ御改ニナツタノモアル、
吾々ガ素人考デアリマスガ、總テ課稅ハ出
來ルナラバ從價稅ニ依ラタ方ガ宜カラウト
思フノデアリマス、併ナガラ從價稅ニ依
ルト云フコトハ品物ノ評價ヲ致シマスニ付
テ非常ニ困難デアル、此間染料ニ付テ御尋
ネヲシタヤウナ通リデアリマス、併ナガラ
或ル物ニ付テハ其形ダケデドウモ決定ノ付
カヌモノモアリマスノデ、就中此砂糖ヲ毎
百斤ニ付テ色ミナ種類ヲ設ケテ色相ノ幾ラ
幾ラト云フコトデ收入ヲ、即チ關稅ヲ課セ
ラレルノデアリマスガ、是モ丁度前ノ染料
ニ付テノ關稅ノ場合ニ御詰ノアリマシタヤ
ウニ、此色相ト云フモノヲ非常ニ色ミニ變
ズル、實際ノ甘味ノ如何ニ拘ラズ極ク高イ
程度ノモノモ其色合ヲ惡クシテ置イテ關稅
ヲ少クシヤウト云フヤウナコトガ事實ニア
リマスノデ、實際家ノ考ヘル所ニ依リマス
ト云フト、今ノ此稅ノ方法ガ甚ダ宜シキヲ
得テ居ラヌノデ、正直ナ人ハ迷惑シ、惡イ
事ヲ考ヘル人ハ得ヲスルト云フヤウナ不公
平モアルシ、又實際ニ當然收入スペキ關稅
ガ入ラナイコトニナルノデアリマシテ、是

ハ或機會ニ於テ御改メニナルベキモノト思
フノデアリマスダ、依然トシテ今日全體ニ
夏テ御修正ガアルヤウニアルニ拘ラズ、
矢張從來ノ通り据置カレタト云フノニアリ
マスガ、之ニ對シテ關稅委員會ガ將來設ケタ
ラレマスヤウナ場合ニ御考慮ヲ下リ爾意味
合デアリマセウカ、如何デアリマスカ御罪
ネヲ致シマス

○政府委員(黒田英雄君) 御尋ネノ通り砂
糖ニ付キマシテハ、現行ノ課稅ノ方法並ニ
稅率ヲ其儘變用ヲ致シテ居リマスノニアリ
マス、之ニ付キマシテハ、現行ノ課稅ノ方
法並ニ稅率ノ盛方ガ研究ヲ致シマシタ結
果、是ニ最モ適當アルト云フ風ニ考ヘマ
シタノデハナイノニアリマシテ、之ニ付キ
マシテハ御意見ノ通り尙ホ十分ニ考究スベ
キ必要ガアルト云フコトハ認メテ居リマス
ノデアリマス、其一例ト致シマシテ、唯今御
詰ニナリマシタヤウニ、色相ニ依シテ區
別スルコトヲ止メテ糖度ニ依シテ區別スル
ト云フコトモ、是ハ一つノ方法ダラウト思
ヒマス、併ナカラニニハ中々糖度ニ區別ヲ
致シマスト云フコトモ、果シテ適當アフル
カドウデアルカト云フコトハ、尙ホ考慮ノ
餘地ノアルヤウニ考ヘルノニアリマシテ、
必シモ良イ砂糖、即チ消費ガサレベキ所ノ
階級、又ハ消費ノ狀況カラ考ヘマシテモ、
必ズシモ良イモノナイト云フモノガ却テ
糖分ガ多イ、高イトカ云フ風ナモノガ出來
テ來ルノニアリマシテ、果シテ此方法モ適
當デアルカ否ヤト云フコトハ、尙ホ十分ニ
考究ノ必要ガアルヤウニ考ヘマス、又色相
ニ依シテ分ケテ居リマス結果、唯今御述べニ
ナリマシタヤウニ、或ル綺麗ナ色ノモノガ
出來マシタモノヲ、稅率ノ低イモノヲ適用
スル目的カラ致シマシテ、之ヲ又色ヲ著ケ
ルト云フ風ナコトガ事實アルヤウニ考ヘル

ノデアリマス、即チ此稅率ガ制定サレマシタ當時ハ、大體製糖ノ技術狀況カラ見マシテ、十五號未滿ニ相成ルテ居タヤウナ狀況デアト思ヒマスガ、今日ハ次第ニ技術モ進ミ設備モ進シテ參リマシテ、而シテソレガ製ナモノガ生産サレマシテ、而シテソレガ製糖ノ原料ニ相成ルテ居タヤウナ狀況デアト思ヒマスガ、サウナリマスト云フ風デゴザイマス、サウナリマスト云フ風カ稅ガ高クナリマスノデ、内地ニ持シテ參リマスルニ付キマシテ、特ニ之ヲ色ヲ著ケテ、以上二十一號未滿位ノモノガ隨分出來ルノデゴザイマス、サウナリマスト云フソレカ稅ガ高クナリマスノデ、内地ニ持シテ參リマスルニ付キマシテ、特ニ之ヲ色ヲ著ケテ、色相ヲ低下シテ參ル、從テ其爲ニ餘計ナ生産費モ要スルシ、又取引ヲスル上ニ於キマシテモ、特別ノモノニ付テノ註文ニ相成リマスルノデ、不便ガアルト云フ風ナコトモチヨットアルヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、然ラバ之ヲ直シマスルト云フコトニ付キマシテハ、又今度ハ内地ノ製糖業トノ間ヲ餘程考究シナケレバナラズ、御承知ノ通斤ト云フ砂糖ガ生産サレテ居ルヤウナ、狀況デアリマスガ、是ハ今日ノ稅率ガ是等ノ保護助長ニ相當貢獻ヲシテ居ルト云フヤウニ考ヘルノデアリマシテ、之ヲ此稅率ヲ變ヘマスルニ、唯今申上げマシタヤウニノ區別ヲ變更ヲシテ、中双ト云フヤウナモノニ對シテ殊更ニ色ヲ著ケルト云フコトヲ止メルト云フコトニシマスト云フト、ドウシテモ分類ヲ變ヘテ來ナケレバナラズ、變止メルト云フコトニシマスト云フト、ドウノニ致シマスト云フヤウニナリマスト云フト、其稅率ヲ如何ナル所ニ置クカト云フコトガ餘程問題ガアルト思ヒマス、此稅率ノ

置方如何ニ依リマシテハ、内地ノ製糖ニ對スル利害ノ關係ガ餘程違シテ參ルノデアリマシテ、殊ニ是ガ内地ノ此砂糖消費稅ト云タト思ヒマスガ、今日ハ次第ニ技術モ進ミ、設備モ進シテ參リマシテ、所謂中双十五號以上二十一號未滿位ノモノガ隨分出來ルノデゴザイマス、サウナリマスト云フ風カ稅ガ高クナリマスノデ、内地ニ持シテ參リマスルニ付キマシテ、特ニ之ヲ色ヲ著ケテ、色相ヲ低下シテ參ル、從テ其爲ニ餘計ナ生産費モ要スルシ、又取引ヲスル上ニ於キマシテモ、特別ノモノニ付テノ註文ニ相成リマスルノデ、不便ガアルト云フ風ナコトモチヨットアルヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、然ラバ之ヲ直シマスルト云フコトニ付キマシテハ、又今度ハ内地ノ製糖業トノ間ヲ餘程考究シナケレバナラズ、御承知ノ通斤ト云フ砂糖ガ生産サレテ居ルヤウナ、狀況デアリマスガ、是ハ今日ノ稅率ガ是等ノ保護助長ニ相當貢獻ヲシテ居ルト云フヤウニ考ヘルノデアリマシテ、之ヲ此稅率ヲ變ヘマスルニ、唯今申上げマシタヤウニノ區別ヲ變更ヲシテ、中双ト云フヤウナモノニ對シテ殊更ニ色ヲ著ケルト云フコトヲ止メルト云フコトニシマスト云フト、ドウシテモ分類ヲ變ヘテ來ナケレバナラズ、變止メルト云フコトニシマスト云フト、ドウノニ致シマスト云フヤウニナリマスト云フト、其稅率ヲ如何ナル所ニ置クカト云フコトガ餘程問題ガアルト思ヒマス、此稅率ノ

原料ト云フモノトノ間ノ調和ヲ保ツコトガ出来ルカト云フコトニ付キマシテハ消費稅ノ方面ト關稅ノ方面ト合セテ攻究ヲ致サナシテモ、特別ノモノニ付テノ註文ニ相成リマスルノデ、不便ガアルト云フ風ナコトモチヨットアルヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、然ラバ之ヲ直シマスルト云フコトニ付キマシテハ、又今度ハ内地ノ製糖業トノ間ヲ餘程考究シナケレバナラズ、御承知ノ通斤ト云フ砂糖ガ生産サレテ居ルヤウナ、狀況デアリマスガ、是ハ今日ノ稅率ガ是等ノ保護助長ニ相當貢獻ヲシテ居ルト云フヤウニ考ヘルノデアリマシテ、之ヲ此稅率ヲ變ヘマスルニ、唯今申上げマシタヤウニノ區別ヲ變更ヲシテ、中双ト云フヤウナモノニ對シテ殊更ニ色ヲ著ケルト云フコトヲ止メルト云フコトニシマスト云フト、ドウシテモ分類ヲ變ヘテ來ナケレバナラズ、變止メルト云フコトニシマスト云フト、ドウノニ致シマスト云フヤウニナリマスト云フト、其稅率ヲ如何ナル所ニ置クカト云フコトガ餘程問題ガアルト思ヒマス、此稅率ノ

支那ノ輸出ニカヽル靴ダトカ栗ダトカ支那酒ノ如キ、比較的重要ナラザルモノデサヘリマス、之ニモ直接關係ヲシテ參ルト云フマシテ、殊ニ是ガ内地ノ此砂糖消費稅ト云ヤウナ結果ニナルノデアリマシテ、其影響スカ、又ドウ云フ風ニ致シマシタナラバ、内地ノ製糖業ト内地ノ此消費竝ニ精製糖ノ原料ト云フモノトノ間ノ調和ヲ保ツコトガ出来ルカト云フコトニ付キマシテハ消費稅ノ方面ト關稅ノ方面ト合セテ攻究ヲ致サナシテモ、特別ノモノニ付テノ註文ニ相成リマスルノデ、不便ガアルト云フ風ナコトモチヨットアルヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、然ラバ之ヲ直シマスルト云フコトニ付キマシテハ、又今度ハ内地ノ製糖業トノ間ヲ餘程考究シナケレバナラズ、御承知ノ通斤ト云フ砂糖ガ生産サレテ居ルヤウナ、狀況デアリマスガ、是ハ今日ノ稅率ガ是等ノ保護助長ニ相當貢獻ヲシテ居ルト云フヤウニ考ヘルノデアリマシテ、之ヲ此稅率ヲ變ヘマスルニ、唯今申上げマシタヤウニノ區別ヲ變更ヲシテ、中双ト云フヤウナモノニ對シテ殊更ニ色ヲ著ケルト云フコトヲ止メルト云フコトニシマスト云フト、ドウシテモ分類ヲ變ヘテ來ナケレバナラズ、變止メルト云フコトニシマスト云フト、ドウノニ致シマスト云フヤウニナリマスト云フト、其稅率ヲ如何ナル所ニ置クカト云フコトガ餘程問題ガアルト思ヒマス、此稅率ノ

○男爵東郷安君 私ハ所謂賛澤品等ノ關稅査委員會ニモニ常設委員會ニモ提案ヲ致シ、其意見モ伺ヒマシテ、適當ナル改正ヲ致シタイ、今日ノ盛り方、稅率ガ是デ宜イ

○男爵東郷安君 私ハ所謂賛澤品目中ニハ、我ガ國ニ於テ相當注

ス、誠ニ我ガ國ノ賛澤品ノ項目ノ中ニハ

是ハ相當ニ、單リ朝鮮カラ參リマスル物ノ
ミナラズ、總テ此賛澤品ノ輸入ニ付キマシ
テハ特別ニ注意ヲ致スコトニ致シテ居ルノ
デアリマス、朝鮮ノ國境ニ付キマシテハチ
ヨント私ハ申上ダ兼ネルノデアリマス
○男爵東郷安君 外務當局ニ伺ヒタイト思
ヒマス、英吉利トノ協定ハ從來ノ如ク今後
モ御繼續ニナル御方針デアリマスカ、或ハ
此儘断絶スル御意向デアリマスカ、ソレヲ
伺ヒマス

○政府委員(長岡春一君) 英吉利トノ通商
航海條約ハ御承知ノ通り明治四十四年ニ締
結サレテ居リマスガ、此協定税率ニ關スル
條項ダケ獨立シテ廢スルコトガ出來ルト云
フ規定ニナッテ居リマシタノデ、其通告ヲ
致シマシテ、去年ノ三月十日デ日英兩國ノ
協定税率ハ廢止サレタノデゴザイマス、其
以來引續キ協定税率ハ日英間ニハ存シテ居
リマセヌ、而シテ去年ノ七月三十日デゴザ
イマシタカ、此通商航海條約ニ附帶スル追
加協定ヲ致シマシタ、併シ是ハ主トシテ沿
岸貿易ニ關スルコトデ、陸境通過ノ貨物ニ
關スル問題ニ限ラテ居リマス

○男爵東郷安君 引續イテ伺ヒマスガ、濱

洲ト加奈陀ハ矢張リ日英條約ニ加ッテ居
ノデアリマスガ、各、特異ナル税率ヲ持
テ居ルノデアリマス、然ルニ濱洲ノ如キデ
ハ我國ニ對シテ可成リ苛酷ナル取扱ヲ勝手
ニ致シテ居ルヤウナ現状デアリマスガ、我國ト致シ
マシタナラバ、日本ノ商品ハ甚ダ不利益十
立場ニ立ツノデアリマスガ、我國ト致シ
マシテハ濱洲ニ對シテ特別ニ何等カノ協定
税率ヲ御設ケニナル御意思ガアリマスカド
ウデアリマスカ

○政府委員(長岡春一君) 御質問ノ加奈陀

ハ日英通商航海條約ニ加入ヲ致シテ居リマ

條約ハマダ戰爭中デゴザイマシテ、大正七年

九月十九日ニ暫定協約ヲ致シマシテ、ソレ

ヲ溯ヅテ其九月ノ十日カラ有效デアルト云

○男爵東郷安君 其點ヲ伺ヒテ居ルノデア

リマスガ、詰リ現状ノ儘日本ハ不利ノ地位

ヲ忍ンデ行カレルノデアリマスカ、ソレト

モ何等カ之ニ對スル方策ヲナサルノデアリ

マスカ、即チ協定税率ヲ御設ケニナル御意

志デアルカ、是ガ私ノ質問デアリマス

○政府委員(長岡春一君) 唯今ノ御質問ニ

對シマシテ、帝國ト致シマシテハ協定ヲス

ルノヲ非常ニ希望シテ居ルノデゴザイマス

ガ、如何ニセム此濱洲カラ參リマス大部分

ノ貨物ハ原料品デゴザイマシテ、ソレニ對

スル日本ノ税率ハ非常ニ低イノデゴザイマ

ス爲ニ、詰リ税率ノ協定ト云フコトハ、相

手方ニ對スル、寧口一方の義務ニ實際上十

極メラ結ビマシテ、一箇月ノ豫告デインデ

モ是ガ廢止サレルト云フコトニナッテ居リ

マス、目下ハ從來ト同ジ條約並ニ協定税率

期限滿了トナリマシテゴザイマスガ、暫定取

率ニ付テモ協議中デゴザイマス、伊太利ト

ノ條約ハ大正六年ノ十二月三十一日ヲ以テ

モ是ガ廢止サレルト云フコトニナッテ居リ

マス、目下ハ從來ト同ジ條約並ニ協定税率

ガ其儘存在シテ居ルノデゴザイマスガ、日

本ト致シマシテハ伊太利ト税率ヲ協定スル

ヌノデ、此商議モ今マダ行惱シテ居リマス、

ソレカラ獨逸トノ通商條約モ例ノ「ベルサ

イユ」條約デ聯合國ガ最惠國民ノ待遇ノ保

障ニ付テナカニ折合ヒマセ

モ、御承知ノ染料ノ問題デ行惱ミマシテ、未

スル曙光ガ見エタヤウニ存ゼラレマスル、

其内ニ通商條約モ結バレルコト、豫期シテ

箇ノ協約ニナルノデアリマスカ

○政府委員(長岡春一君) 今マデノ所殘念

ナカラ佛領印度支那トハ條約關係ヲ日本ハ

内ニ加入イタスノデアリマスカ、或ハ又別

箇ノ協約ニナルノデアリマスカ

○政府委員(長岡春一君) 今マデノ所殘念

ナカラ佛領印度支那トハ條約關係ヲ日本ハ

持シテ居リマセヌ、ソレデ彼處ニハ「ミニマ

ム、タリフ」ヲ日本ノ商品ガ享受スルコト

ガ出來ナイノハ甚ダ遺憾トシテ居リマシ

タ、先年來印度支那總督ガ日本ニ見エラレ

タ時、又昨年山縣使節ガ印度支那ニ行カレ

五

支那トノ通商促進並ニ居住營業各種ノ方面ニ亘ツテ協定ノ基礎ヲ築クコトニ苦心ヲ致シマシタ、ケレドモ、佛蘭西ノ空氣ハ大分印度支那ノ方ノ空氣トハ違テ居リマスルノデ、容易ニ商談モ進行イタシマセヌデゴザイマスルガ、政府ト致シマシテハ目下熱心ニ印度支那ニ於ケル稅率ヲ協定スル問題並ニ日本人ノ居住營業ニ關スル問題ヲ佛蘭西ト協議中デアリマス

○男爵東郷安君 最後ニ一般的ニ伺ヒタイノデアリマスガ、日本デ特ニ保護ヲ要スル產業、例ヘバ毛織物ノ如キモノニ對シテ關稅定率ヲ飽ク迄モ今後持續スルト云フ御方針デ居ラレルノデアリマスカ

○政府委員(黒田英雄君) 今回ノ提案ハ詰り現在ノ狀況カラ見マシテ内地ノ產業ニ必要ナル適度ノ稅率ヲ盛ルコトヲ以テ主ニ致シテ居ルノデアリマス、將來ソレ等ノ產業が段々發達シテ參リマスト云フト或ハ多量生産ノ結果ト致シマシテ、生産費モ段々下テ來ル、或ハ需要ガ段々殖エテ來マスル結果トシテ其生産モ殖エテ來ル、從ツテ生產費モ下ル、或ハ技術ノ改善ニ依リマシテ生産費モ下ルト云フ風ナ事情ガ增シテ參リマシテ、現在決メマシタ稅率ヲ維持セズトモニ内地ノ產業ノ發達ノ上ニ現在ノ稅率ヲ維持スル必要ハナイト云フ風ナ狀況ニナリマスレバ、品物ニ依リマシテハ或ハ稅率ヲ引下ダルトカ、或ハ物ニ依リマシテハ、特殊ノモノガ這入テ來ルノガ、是ハ獎勵ヲスル必要ハナイト云フモノニ付キマシテハ、適當ナ稅率ヲ以テ据置クト云フ風ニ、ソレゾレ其時ノ事情ニ應ジテ又稅率ヲ變更スル必要ガアラウト考ヘテ居リマス

○子爵大河内正敏君 ソレニ關聯シタ問題コトデアリマスガ、印度ト日本ノ間ノ「タ

印度支那ノ空氣トハ違テ居リマスルノデ、容易ニ商談モ進行イタシマセヌデゴザイマスルガ、政府ト致シマシテハ目下熱心ニ印度支那ニ於ケル「ミニマムタリフ」ノ恩惠ヲ並ニ日本人ノ居住營業ニ關スル問題ヲ佛蘭西ト協議中デアリマス

○男爵東郷安君 最後ニ一般的ニ伺ヒタイノデアリマスガ、日本デ特ニ保護ヲ要スル

○政府委員(長岡春一君) 英吉利ト日本ハ特別ノ交換公文ヲ持テ居リマシテ其取極ニ依テ英吉利ノ受ケル「ミニマムタリフ」ニ均霑スルコトガ出來ルヤウニナッテ居リマス

○子爵大河内正敏君 サウシマスト假リニ印度ガ或ル種類ノ關稅ヲ上ゲテ、サウシテ一面ニ於テ英吉利本國ト印度トノ間ニ或ル取除ケノヤウナ條約ノヤウナモノガ出來ル、謂ハミ最惠國ノヤウナ條約ノヤウナモノガ出來ルト云フヤウナ場合ニ日本ダケヲ除外スルコトハ出來ヌ譯デアリマスカ

○政府委員(長岡春一君) 今ノ取極ハ英吉利ニ供與スル關稅ト同ジモノノ日本ニ適用スル、斯ウナッテ居リマスカラ除外例ハ出来マセヌ

○稻畠勝太郎君 唯今東郷サンカラ御質問ニナリマシタ羊毛工業ニ付キマシテ毛織絲デゴザイマス、毛織絲ガ此現行稅率ハ一割五分トナッテ居ル、ソレヲ改正ニ依リマシテ一割ト云フコトニナッテ、五分ノ稅率ガ下シテ居ル、減稅サレテ居ル、成程此現行稅率ハ明治時代ノ價格ニ依テ從價ニ直サレタルモノデアリマスカラシテ、金額ハ違ヒ

○稻畠勝太郎君 甲、乙、番手ノ異リタルモノシテ毛織絲ト云フモノハ莫大ナモノデ、數千萬圓ネノ甲乙デゴザイマスルト甲乙ノ方ハ是非ナリマス、第二ハ、魚油ヨリ製スル所ノ硬油品ハ品質ガ劣等デゴザイマシテ、石鹼ヲ製造スル原料ニハナリマスルガ、洗濯石鹼以外ニハ、此上等石鹼ヲ作リマスノニハ魚油ヨリ製造シタル所ノ硬油ハ適シナイノデアリマス、上等品ハ是非牛脂ヲ原料トスルコトガ必須デアリマシテ、是ハ石鹼業者ノミナラズ、化學工業ノ知識ノアルモノハ、皆知テ居ル所デアリマス、即チ魚硬油ハ、決シテ牛脂ノ代用品トナルコトヲ得ナイノデアリマスルカラ、牛脂ノ課稅ト云フコトヲ殆ド輸入モナイノデアリマス、此點カラ過ギヌノデアリマス、第三ニ牛脂ニ課稅ヲ

○稻畠勝太郎君 ンノ如キハ莫大ナル缺損ヲ發表シテ居ル、ノ印第安マセヌノデアリマス、故ニ一割程度ニ印度ガ英吉利ニ對シテ最惠國ノヤウナ條約ノヤウナモノヲ結ビマシタ時ニ其英吉利ニ對スルト同ジ「ミニマムタリフ」ノ恩惠ヲ日本ガ受ケ得ルノデアリマスカ、ドウデアリマスカ

○稻畠勝太郎君 次ハ第百八號中ノ牛脂ノ特別ノ交換公文ヲ持テ居リマシテ其取極ニ依テ英吉利ノ受ケル「ミニマムタリフ」ニ均霑スルコトガ出來ルヤウニナッテ居リマス

○子爵大河内正敏君 サウシマスト假リニ印度ガ或ル種類ノ關稅ヲ上ゲテ、サウシテ一面ニ於テ英吉利本國ト印度トノ間ニ或ル取除ケノヤウナ條約ノヤウナモノガ出來ル、謂ハミ最惠國ノヤウナ條約ノヤウナモノガ出來ルト云フヤウナ場合ニ日本ダケヲ除外スルコトハ出來ヌ譯デアリマスカ

○政府委員(長岡春一君) 今ノ取極ハ英吉利ニ供與スル關稅ト同ジモノノ日本ニ適用スル、斯ウナッテ居リマスカラ除外例ハ出来マセヌ

○稻畠勝太郎君 次ハ第百八號中ノ牛脂ノ特別ノ交換公文ヲ持テ居リマシテ其取極ニ依テ英吉利ノ受ケル「ミニマムタリフ」ニ均霑スルコトガ出來ルヤウニナッテ居リマス

○政府委員(宮内國太郎君) 二百八十三號利ニ供與スル關稅ト同ジモノノ日本ニ適用スル、斯ウナッテ居リマスカラ除外例ハ出来マセヌ

○政府委員(宮内國太郎君) 二百八十三號ノ毛織品ニ付キマシテ唯今ノ御尋ネノハ多分内デアラウト思ヒマスガ、イロ、デゴザイマスカ

○稻畠勝太郎君 甲、乙、番手ノ異リタルモノシテ毛織絲ト云フモノハ莫大ナモノデ、數千萬圓ネノ甲乙デゴザイマスルト甲乙ノ方ハ是非ナリマス、第二ハ、魚油ヨリ製スル所ノ硬油品ハ品質ガ劣等デゴザイマシテ、石鹼ヲ製造スル原料ニハナリマスルガ、洗濯石鹼以外ニハ、此上等石鹼ヲ作リマスノニハ魚油ヨリ製造シタル所ノ硬油ハ適シナイノデアリマス、上等品ハ是非牛脂ヲ原料トスルコトガ必須デアリマシテ、是ハ石鹼業者ノミナラズ、化學工業ノ知識ノアルモノハ、皆知テ居ル所デアリマス、即チ魚硬油ハ、決シテ牛脂ノ代用品トナルコトヲ得ナイノデアリマスルカラ、牛脂ノ課稅ト云フコトヲ殆ド輸入モナイノデアリマス、此點カラ過ギヌノデアリマス、第三ニ牛脂ニ課稅ヲ

○稻畠勝太郎君 ンノ如キハ莫大ナル缺損ヲ發表シテ居ル、ノ印第安マセヌノデアリマス、故ニ一割程度ニ印度ガ英吉利ニ對シテ最惠國ノヤウナ條約ノヤウナモノヲ結ビマシタ時ニ其英吉利ニ對スルト同ジ「ミニマムタリフ」ノ恩惠ヲ日本ガ受ケ得ルノデアリマスカ、ドウデアリマスカ

○政府委員(宮内國太郎君) 甲乙ト一縦ニ居ルノデアリマスルガ、殊ニ最近ニ於キマドン這入テ、此毛織工業ノ殊ニ紡績ト云シテ佛蘭西ノ「フラン」ガ暴落イタシマシタ爲ニ佛蘭西方面カラハ非常ニ安イ絲ガドン

石鹼業者ハ、目下原料高ニ苦シニ居リマシテ、其ノ結果、當業者ヲ一層經營難ニ陥シ人レシムルコトデアリマシテハ、殊ニ石鹼ハ輸出品デアリマシテ、輸出貿易上、外國品トノ競争ヲ困難ナラシメル、是ハ國家ノ經濟上カラ見マシテモ由々敷大事ト云フテ宜イノデゴザイマスカラ、此ノ貿易上ノ振合カラ考ヘマシテモ、國家ノ政策トシテ、最モ慎ムベキコトト思フノデアリマスルカラ、此牛脂ニ對シテ課稅スルト云フコトニ付イテハ、私ハ了解ヲ得ナイノデアリマス、此間カラ此牛脂問題ニ付イテハ、政府委員ノ説明モアリマシタガ、私ハ此ノコトヲ言ヒ漏ラシマシタカラシテ、此ノ際ニ於テ牛脂ニ、此ノ課稅ヲスルト云フコトニ付イテ、反對ノ意見ヲ述ベタイト思ウノデス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 御異見ゴザイマセヌカ

〔賛成〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵柳澤保惠君) ソレデハ今日ハ是デ散會イタシマス、明日ハ午前十時ヨリ開會イタシマス

午前十一時三十六分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵柳澤 保惠君
委員 子爵大河内正敏君

子爵渡邊 千冬君
大塚勝太郎君

和田彦次郎君
内田 嘉吉君

神野勝之助君
男爵郷 誠之助君

男爵東郷 安君
倉知 鐵吉君

中川小十郎君
内藤 久寛君

稻畑勝太郎君
岡崎 藤吉君

磯貝 浩君

政府委員

外務省條約局長
長岡 春一君

大藏省主税局長
黒田 英雄君

大藏技師
矢部規矩治君

農林政務次官
小山 松壽君

商工政務次官
棚瀬軍之佐君

商工省工務局長
宮内國太郎君

〔ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵柳澤保惠君) ソレデハ條文ニモ御質問ガナイ、品目ニモ御質問ガナケレバ如何デゴザイマスカ、一時休憩イタシマスカ、散會イタシマスカ、御希望次第ニ決メマス

○倉知鐵吉君 今日ハ是デ御散會ヲ願ヒマシテ、明日午前十時頃カラ御開會ヲ願ヒマシテ

ス

大正十五年四月五日印刷

大正十五年四月六日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局